

SSNと海自工廠（呉） 国家戦略的技術投資と巨大経済波及効果

作成者：exomusot.com

日本の防衛技術と「ものづくり」の未来を担う国家プロジェクト

1. 🚢 戦略的必然性：追跡なくして抑止力なし

「探知技術の進化」は進んでも、**「永続的な追跡能力」**なくして海中抑止は無意味になる。

【通常型潜水艦（SSK）の限界】

- **航続距離・速度の限界:** 広域での継続的なカバーが不可能。
- **充電時の脆弱性:** 浮上・浅深度移動が必要となり、探知リスクが増大。
- **艦内環境の制約:** 酸素貯蔵量に依存し、長期潜航におけるストレスが増加。

【SSNが解消するボトルネック (戦略)】

- **無限の追跡能力:** 原子力推進による**無制限の航続力**と水中高速巡航能力。
- **持続的な監視:** 長期間にわたる水中の戦略的要衝の監視・追跡が可能。
- **抑止力の完成:** 探知した敵勢力を、確実に永続的に追尾し続ける。

【SSNが実現する優位点 (運用・戦術)】

- **大出力アクティブソナー:** 豊富な電力により、**大出力ソナー**や将来の指向性エネルギー兵器の搭載・運用が可能。
- **無限の酸素生成:** 豊富な電力で**艦内の酸素を無限生成**。乗員の環境ストレスを最小化。
- **静粛性維持:** 浮上・換気・充電が不要なため、静粛性を途切れさせない。
- **高い稼働率:** 補給・整備サイクルが長く、即応体制を長期的に維持可能。

2. 戦略的立地：呉・製鉄所跡地

SSNの運用基盤となる「海自工廠（核対応）」の立地として、呉の製鉄所跡地は最適です。

🏗️ **地理的優位性:** 既存の深水岸壁と広大な敷地を転用可能。

👤 **歴史的継続性:** 旧工廠以来の高度な技術者コミュニティが存在。

🛡️ **戦略的要衝:** 海自基地と隣接し、機密保持と警備体制を統合可能。

3. 🚀 経済波及効果：20年間の国家投資

試算される民間への経済波及効果

GDP波及効果 (累積)

約 12 兆円

雇用創出効果 (累積)

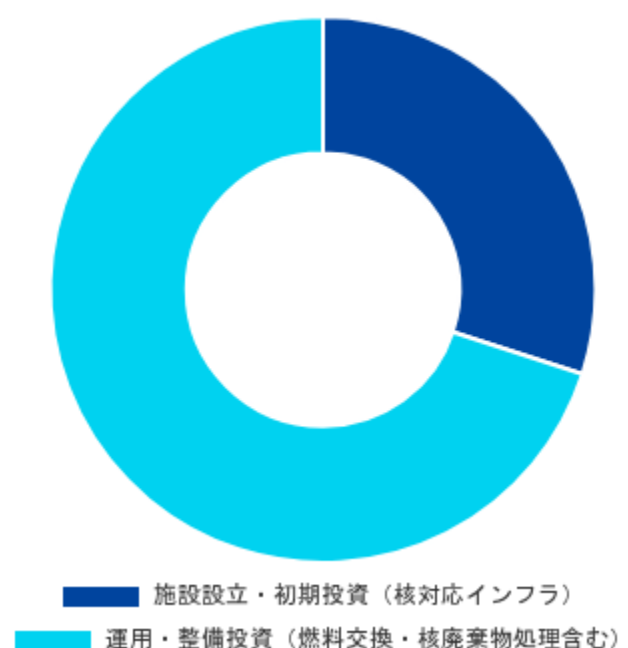
約 20 万人

総投資額（20年間）

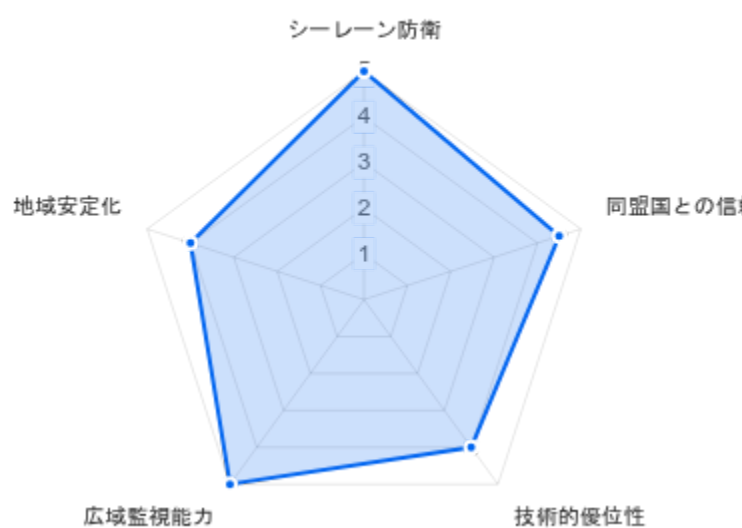
約 10 兆円

4. 投資内訳と地政学的好影響

総投資額 10兆円（20年間）の内訳



アジア諸国への好影響（中国、韓国、北朝鮮を除く）



5. 日本の強みを活かす：良質な労働需要と技術継承

工廠は、日本の得意とする製造業の技術と国民性に適合した「良質な労働需要」を創出し、技術継承の場となります。



製造業の技術需要が増大

造船、超精密溶接、特殊素材加工など、熟練の「職人技」への需要が最高レベルで発生します。



高度専門人材の育成

原子力工学、放射線管理の専門家を育成・維持。原子力安全文化を応用し、技術的自立を支えます。

本インフォグラフィックは、SSNと海自工廠の戦略的必要性、およびシミュレーションに基づく経済・技術的效果を視覚化したものです。

© 2025 exomusot.com 印刷・配布フリー